土壌消毒剤

バスアミド® 微粒剤

登録番号	第 23478 号
性　　状	類白色微粒
有効期限	5年
毒　　性	医薬用外劇物
包　　装	10kg×2袋

日曹の農薬

有効成分　ダゾメット　96.5%
種 類 名　ダゾメット粉粒剤　　殺虫剤分類　8F

■特　長

1. 刺激臭が少なく毒性も比較的低いため、周辺の民家や作業者に対する悪影響が少ない薬剤です。
2. 広範囲の土壌病害及び、センチュウに優れた効果を発揮します。また雑草に対しても高い殺草効果があります。
3. 微粒剤なので、散粒器または手（手袋着用）で簡単に散布できます。
   そのうえ、均一に散布されたかどうかを目視で確認できます。

製品ページはこちら

■適用病害虫・雑草名及び使用方法　　（2026 年 11 月 18 日現在）

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
なし	白紋羽病	100g/m^2	夏期～秋期	1回	被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。
りんご	紫紋羽病	50～100g/m^2			
	白紋羽病				
ぶどう					
かんしょ	紫紋羽病	20～30kg/10a	植付21日前まで		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	つる割病				
	白絹病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
	基腐病	30kg/10a			
こんにゃく	白絹病	20～30kg/10a			
	乾腐病				
	根腐病	20～60kg/10a			
	一年生雑草				
さといも さといも(葉柄)	乾腐病	20～30kg/10a			
	ネグサレセンチュウ				
	一年生雑草				
ばれいしょ	そうか病				
	粉状そうか病				
	黒あざ病				
	萎凋病				
	一年生雑草				
やまのいも やまのいも(むかご)	根腐病				
	褐色腐敗病				
	一年生雑草				
かぶ	バーティシリウム黒点病		は種又は定植21日前まで		
	根こぶ病				
	萎黄病				
	一年生雑草				

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
ごぼう 葉ごぼう	萎凋病	20～30kg/10a	は種28日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	黒あざ病				
	一年生雑草				
しょうが	根茎腐敗病	30～60kg/10a	定植21日前まで		
	一年生雑草	20～30kg/10a			
葉しょうが	根茎腐敗病	30kg/10a			
	一年生雑草	20～30kg/10a			
だいこん	ネグサレセンチュウ	10～20kg/10a	は種21日前まで		
	バーティシリウム黒点病	20～30kg/10a			
	根こぶ病				
	萎黄病				
	一年生雑草				
はつかだいこん		20kg/10a	は種35日前まで		
てんさい	叢根病	200～400g/m^3	秋期（翌春は種）		
	苗立枯病				
にんじん	萎凋病	20～30kg/10a	は種又は定植21日前まで		
	根腐病				
	しみ腐病				
	乾腐病				
	白絹病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
もりあざみ	黒あざ病	30kg/10a	は種21日前まで		
	半身萎凋病				
	一年生雑草				
たまねぎ	黒腐菌核病	30～60kg/10a	は種又は定植21日前まで		
	紅色根腐病	30kg/10a			
	苗立枯病	20～40kg/10a			
	乾腐病	20～30kg/10a			
	白絹病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
	黒穂病		秋期（翌春は種）		
	一年生雑草				
葉たまねぎ(苗床)	べと病	20kg/10a	は種14日前まで		本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。
	一年生雑草	10～20kg/10a			

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
にんにく	黒腐菌核病	30kg/10a	植付28日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	紅色根腐病				
	白絹病				
	イモグサレセンチュウ				
	一年生雑草				
らっきょう	黒腐菌核病		植付21日前まで		
	根腐病				
	乾腐病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
にら	黒腐菌核病		は種又は定植21日前まで		
	乾腐病				
	紅色根腐病				
	白絹病				
	一年生雑草	30～60kg/10a			
ねぎ	黒腐菌核病		は種又は定植14日前まで		
	紅色根腐病	30kg/10a			
	ネギハモグリバエ				
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	20～30kg/10a			
	白絹病				
	小菌核腐敗病				
	萎凋病				
	根腐萎凋病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
わけぎ	黒腐菌核病	30kg/10a	は種又は定植21日前まで		
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	20～30kg/10a			
	一年生雑草				
らっかせい	白絹病	30kg/10a			
	一年生雑草				
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、実えんどう、さやえんどう、さやいんげん、未成熟そらまめを除く)	苗立枯病(リゾクトニア菌)		は種21日前まで		
	茎腐病				
	一年生雑草				
えだまめ	苗立枯病(リゾクトニア菌)	20～30kg/10a	は種又は定植21日前まで		
	葉腐病				
	白絹病				
	一年生雑草				
	ダイズシストセンチュウ	30kg/10a			
さやいんげん	苗立枯病(リゾクトニア菌)	20～30kg/10a	は種21日前まで		
	葉腐病				
	白絹病				
	一年生雑草				

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
さやえんどう 実えんどう	苗立枯病(リゾクトニア菌)	20～30kg/10a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	茎腐病				
	一年生雑草				
未成熟そらまめ	苗立枯病(リゾクトニア菌)	30kg/10a	は種21日前又は定植45日前まで		
	茎腐病				
	えそモザイク病				
	一年生雑草				
きゅうり	苗立枯病(ピシウム菌)	200～400g/m^3	は種又は定植21日前まで		土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。
	苗立枯病(リゾクトニア菌)				
	つる割病	20～30kg/10a			本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	半身萎凋病				
	白絹病				
	一年生雑草				
にがうり	つる割病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
かぼちゃ	苗立枯病(リゾクトニア菌)				
	フザリウム立枯病				
	一年生雑草				
すいか	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～400g/m^3			土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。
	つる割病	20～30kg/10a			本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	白絹病				
	一年生雑草				
メロン	黒点根腐病				
	つる割病				
	半身萎凋病				
	黒変根腐症				
	白絹病				
	一年生雑草				
	紅色根腐病	30kg/10a			
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～400g/m^3			土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。
なす	青枯病	30kg/10a			本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	20～30kg/10a			
	半身萎凋病				
	白絹病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
トマト ミニトマト	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～300g /m^3	は種又は 定植21日前 まで	1回	土壌に本剤の 所定量を加え 十分混和する。
	萎凋病	20～30kg /10a			本剤の所定量を 均一に散布して 土壌と混和する。
	褐色根腐病				
	白絹病				
	根腐萎凋病				
	半身萎凋病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
	紅色根腐病	30kg/10a			
	青枯病	30～60kg /10a			
とうがらし類	苗立枯病(リゾクトニア菌)	30kg/10a	定植21日前 まで		
	萎凋病				
	疫病				
	青枯病				
	一年生雑草				
ピーマン	苗立枯病(リゾクトニア菌)		は種又は 定植21日前 まで		
	半身萎凋病				
	萎凋病				
	青枯病				
	白絹病				
	一年生雑草				
カリフラワー ブロッコリー	テンサイシストセンチュウ				
	根こぶ病	20～30kg /10a			
	一年生雑草				
非結球あぶらな科葉菜類 (非結球メキャベツ、 こまつな、 非結球はくさい、 なばな類、チンゲンサイ、 みずなを除く)	根こぶ病	30kg/10a	は種14日前 まで		
	一年生雑草	20～30kg /10a			
こまつな	萎黄病		は種10日前 まで		
	根こぶ病				
	一年生雑草				
チンゲンサイ	根こぶ病	30kg/10a	は種又は 定植21日前 まで		
	一年生雑草				
なばな類	根こぶ病	20kg/10a			
	一年生雑草				
非結球はくさい	萎黄病	20～30kg /10a	は種又は 定植14日前 まで		
	根こぶ病				
	一年生雑草				
非結球メキャベツ	萎黄病		定植21日前 まで		
	一年生雑草				

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
みずな	立枯病(ピシウム菌)	30kg/10a	は種12日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	根こぶ病				
	一年生雑草				
キャベツ	苗立枯病(リゾクトニア菌)	20～30kg/10a	は種又は定植21日前まで		
	株腐病				
	萎黄病				
	バーティシリウム萎凋病				
	根こぶ病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
はくさい	根こぶ病				
	尻腐病				
	根くびれ病				
	黄化病				
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				
非結球レタス	すそ枯病		は種又は定植14日前まで		
	根腐病				
	白絹病				
	一年生雑草				
	黒根病	30kg/10a			
	コルキールート病				
	ビッグベイン病				
レタス	すそ枯病	20～30kg/10a			
	白絹病				
	一年生雑草				
	黒根病	30kg/10a			
	コルキールート病				
	ネグサレセンチュウ				
	ビッグベイン病				
あしたば	苗立枯病(リゾクトニア菌)		は種10日前まで		
	一年生雑草				
セルリー	萎黄病		は種又は定植21日前まで		
	一年生雑草				
チャービル		20kg/10a	は種42日前まで		
パセリ	苗立枯病(リゾクトニア菌)	30kg/10a	は種又は定植21日前まで		
	疫病				
	萎凋病				
	一年生雑草				
みつば	立枯病	20kg/10a	は種21日前まで		
	一年生雑草				

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
しゅんぎく	萎凋病	20kg/10a	は種21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	一年生雑草				
しそ	青枯病	30kg/10a	は種又は定植14日前まで		
	一年生雑草				
ほうれんそう	立枯病	20～30kg/10a	は種10日前まで		
	萎凋病				
	株腐病				
	根腐病				
	ホウレンソウケナガコナダニ				
	一年生雑草				
	ホウレンソウケナガコナダニ	10kg/10a			本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。
つるむらさき	ネコブセンチュウ	20～30kg/10a	定植21日前まで		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	一年生雑草				
モロヘイヤ	ネコブセンチュウ	30kg/10a	定植30日前まで		
	一年生雑草				
ふき	半身萎凋病		は種又は定植21日前まで		
	白絹病				
	一年生雑草				
食用ぎく	萎凋病	20～30kg/10a			
	半身萎凋病				
	白絹病				
	センチュウ類 （ハガレセンチュウを除く）				
	一年生雑草				
	青枯病	30kg/10a			
いちご	萎黄病	20～30kg/10a	仮植又は定植21日前まで		
	萎凋病				
	炭疽病				
	芽枯病				
	一年生雑草				
	青枯病	30kg/10a			
	疫病				
みょうが(茎葉) みょうが(花穂)	立枯症		定植42日前まで		
	一年生雑草				
かのこそう	半身萎凋病	20～30kg/10a	定植28日前まで		
	一年生雑草				
しゃくやく(薬用)	根黒斑病	30～40kg/10a	植付前		
	白絹病	20～30kg/10a			
	ネコブセンチュウ				
	一年生雑草				

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
セネガ	一年生雑草	30kg/10a	は種又は定植前	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
おうぎ せんぶり みしまさいこ		20～30kg/10a	は種前		
薬用ごぼう	萎凋病		は種又は定植前		
	黒あざ病				
	一年生雑草				
花き類・観葉植物	苗立枯病(リゾクトニア菌)		は種又は植付前		
	株腐病				
	球根腐敗病				
	首腐病				
	半身萎凋病				
	萎凋病				
	萎黄病				
	白絹病				
	立枯病				
	根頭がんしゅ病				
	ネコブセンチュウ				
	青枯病	30kg/10a			
	一年生雑草	20～60kg/10a			
アイスランドポピー	萎縮病	20～30kg/10a			
カーネーション スターチス	萎凋細菌病				
きく	センチュウ類 (ハガレセンチュウを除く)				
グロリオサ	紅色根腐病				
さくらそう	軟腐病				
スイトピー	腰折病	20～30kg/10a	は種又は植付前		
ストック	苗腐病				
	萎凋病	30～40kg/10a			
トルコギキョウ パンジー	根腐病	20～30kg/10a			
ぼたん しゃくやく	根黒斑病	30～40kg/10a	植付前		
樹木類	定植ほ場の南根腐病菌、 ならたけ病菌、 ならたけもどき病菌の 密度低減	100g/m^2	定植前		被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。
樹木類(苗木)	一年生雑草	20～30kg/10a	植付前		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。

作物名	適用病害虫名 適用雑草名 使用目的	使用量	使用時期	本剤及びダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
つつじ類	センチュウ類	20～30kg/10a	は種又は植付前	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	一年生雑草				
せんりょう	立枯病				
	一年生雑草				
いぐさ		30kg/10a	畑苗床での定植28日前まで（入水15日前まで）		
たばこ	角斑病	10～20kg/10a	秋期（翌春植付）		
	野火病				
	センチュウ類				
	立枯病	20～30kg/10a			
	黒根病				
	疫病				
	一年生雑草				
	疫病	5～10kg/10a	春期（植付前）		本剤の所定量を畦面に散布して土壌と十分混和する。
	センチュウ類				
芝	一年生雑草	目土用土1m^{3}当り100～200g	雑草発生前		土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。
		30kg/10a	は種又は定植21日前まで		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
桑	紫紋羽病	1株当り(4m^2)400～600g	夏期～秋期		被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。
	白紋羽病				

⚠ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
2. 本剤を処理する前に耕起整地してください。
3. 本剤は土壌中の水分によって分解し、ガスを発生することによって効果を発揮するもので、土壌の種類、水分含量、温度等により効果にふれが出るので、以下のことに十分留意してください。
   （1）地温が 10℃以下の時には使用しないでください。
   （2）砂質土壌や乾燥した土壌で使用又は紙製被覆資材で被覆する場合は、ていねいに混和した後灌水して適度の水分を与えてから被覆してください。
   （3）次の場合はガスの拡散が遅いので、被覆期間を適宜延長してください。
   - 重粘土質の土壌の場合
   - 降雨などにより土壌水分が多い場合
   - 地温が低い（15℃以下）場合
4. センチュウが多発する条件、あるいはトマト、なすではセンチュウ類に対する効果が劣る場合があるので、センチュウを防除対象とする場合には、他の防除方法と併用して使用してください。
5. ガス抜きが不十分であると薬害が生じるおそれがあるので、少なくとも 2 回は耕起によるガス抜きを実施してください。なお、ガス拡散の遅い条件の場合は特にていねいに行ってください。

6. 本剤を全面に処理する場合、深さ 15 ～ 25cm に土壌と十分に混和してください。特にやまのいもに使用する場合、深さ 50 ～ 60cm に土壌と十分に混和してください。混和後ビニール等で被覆または鎮圧散水してガスの蒸散を防いでください。7 ～ 14 日後被覆を除去して、ガス抜きを行ってください。
7. 本剤を苗立枯病または芝の目土用土に処理する場合、本剤を十分混和後ビニール等で被覆し、7 ～ 14 日後被覆を除去して、ガス抜きを行ってください。
8. 本剤が作物に直接ふれると薬害を生じるので、周辺に作物がある場合にはかからないように、十分間隔をおいて薬剤を処理してください。
9. 温室やビニールハウスなどの施設内に作物がある場合、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
10. りんご、桑、なし及びぶどうに使用する場合は、被害株を抜き取った跡地の周辺部を含めてできるだけ広めに本剤を散布し、深さ 25 ～ 40cm(りんごの場合は深さ 40cm) に土壌と均一に混和してください。本剤処理 20 日後に被覆を除去して耕起し、翌春に植え付けてください。また、りんご、なし及びぶどうでは、植え付けた年は果実を収穫しないでください。
11. 樹木類に使用する場合は、以下の点に注意してください。
    (1) 南根腐病菌の密度低減のため樹木類に使用する場合は、行政機関等 (県、市町村) から南根腐病の発生地域として指定された防除を必要とする場所での使用に限ります。また、安全管理及び使用方法については、沖縄県の安全使用に係る指導内容を遵守し、人畜等への危被害防止に十分配慮してください。
    (2) ならたけ病菌の密度低減及びならたけもどき病菌の密度低減のため樹木類に使用する場合、安全管理及び使用方法については、各都道府県の森林組合連合会、また林業試験場の安全使用に係る指導内容を遵守し、人畜等への危被害防止に十分配慮してください。
    (3) 被害株を抜き取った跡地の周辺部を含めてできるだけ広めに本剤を散布し、深さ 45cm に土壌と均一に混和し、ガスバリアー性フィルムで被覆してください。本剤処理 30 日後に被覆を除去して耕起し、植え付けてください。
12. ごぼう及び薬用ごぼうに使用する場合は生育抑制・岐根等の薬害を生じるおそれがあるので、処理からは種までの期間を十分とり、ガス抜きをていねいに行い、発芽テスト等で安全を確認の上、は種してください。
13. しょうが及び葉しょうがの根茎腐敗病に対しては、多発生条件では効果が不十分な場合があるので注意してください。
14. は種又は定植の 20 ～ 10 日前に使用する場合は、地温 20℃以上の条件に限って使用してください。
15. 芝の目土に処理する場合は、目土中に含まれる雑草種子を殺す目的で目土を処理するものであるので、除草剤として芝に直接散布することのないように注意してください。
16. 葉たまねぎ (苗床) 及びたまねぎのは種 14 日前までに使用する場合、本剤を均一に散布後、レーキ等で浅く (2 ～ 3cm) 混和し、ビニール等で被覆してください。7 日後に被覆を除去し、さらにその後 7 日間放置し、は種前にレーキ等で浅く整地しガス抜きを行ってください。
17. たまねぎのべと病は感染力が強く拡がりやすい病害のため、散布剤との体系処理を行い、感染防除に努めてださい。
18. たまねぎに秋期に使用する場合、本剤を均一に散布後、十分混和し、ビニール等で被覆してください。約 20 日後に被覆を除去しガス抜きを行ってください。は種は翌春に行ってください。
19. ほうれんそうのホウレンソウケナガコナダニに使用量 10kg で使用する場合、本剤を均一に散布後、レーキ等で浅く (2 ～ 3cm) 混和し、ビニール等で被覆してください。5 ～ 10 日後に被覆を除去し、は種前にレーキ等で浅く整地しガス抜きを行ってくだい。
20. てんさいに秋期に使用する場合、本剤を均一に散布後、十分混和し、ビニール等で被覆してください。約 20 日後に被覆を除去してガス抜きを行ってください。は種は翌春に行ってください。
21. たばこに使用する場合、次のことに注意してください。
    (1) 秋期に使用する場合、本剤を均一に散布後、十分混和してください。混和後鎮圧してガスの蒸散を防ぎ翌春耕起した後、植え付けてください。
    (2) 春期に使用する場合、本剤を散布後、十分混和してください。混和後そのまま放置し、2 週間後に畦立てをし、その 2 日後にビニール等で被覆してください。さらに 2 週間後に植え付けてください。
22. ミツバチの巣箱周辺での使用はさけてください。
23. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
24. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにてください。

⚠ 安全使用上の注意



25. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
26. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
27. 皮ふに対して刺激性があるので、皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
28. 本剤の処理の際は、吸収缶付き（活性炭入り）防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣、ゴム長靴などを着用してください。ガス抜き作業の際及び、ガス抜き作業前に施設内に立ち入る場合にも、同様の防護マスクを着用してください。また、薬剤が皮ふに付着したり、粉末や発生するガスを吸い込んだりしないよう注意し、作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
29. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
30. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
31. 作業に際してはガスに暴露しないよう、風向き等を十分配慮してください。
32. 作業中及びくん蒸中のほ場等へ、小児等作業に関係のない者や、家畜、家禽が立ち入らないよう十分注意してください。
33. 住宅付近での使用に当たっては、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮してください。
34. 街路、公園等の小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入るおそれのある場所で使用する場合は、発生するガスによって人畜等に被害を及ぼさないよう作業中、くん蒸及びガス抜き中は縄囲い及び立て札などを設置し、可能な限り広く立入禁止区域を設けてください。
35. 水にふれると有毒なガスが発生するので保管及び取扱いに注意してください。

● 水産動植物への影響

水産動植物（魚類、甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 保管上の注意

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所にカギをかけて保管してください。種子・苗・肥料、他の農薬などと隔離してください。盗難・紛失の際は警察に届け出てください。

●バスアミド微粒剤の上手な使い方

① クロルピクリン剤との同時処理は、作物への影響期間が長くなるため、絶対さけてください。
② 施設内で使用する場合、十分換気をして作業を行ってください。本剤は地温が高いほどガスの拡散が速いので、作業はできるだけ早朝など地温の低い時に行い、散布後速やかに土壌混和し被覆してください。大型連棟ハウスでは、散布から土壌混和、被覆までの一貫作業を小面積ごとに順次行うようにしてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。
●小児の手の届く所には、置かないでください。●空容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。